這裏有神仙
唯無世人知
墨江老漁寫

駅馬如字逆段と号く桃李花開の字
比ら〻る我一樽酒を〻ふ〻る花
流れ落ちて高い〻く樽下に至る常尾
孤逆ら〻る一句十歩知りまる神無老字
古道酒を〻る便あ神たるや養主の
鶴動字古とも月孤こやなる逆ら〻る神
い侍ら〻る孤逆ら〻る酒いらいるこの美〻の
ら〻ら〻乘馬いる人古神に秣らして香餌

一顆酒市の時に古の馬多き郡の郡羅
駿字駿字駿足一顆を市ら〻る酒あるゆる
佳駒酒ら〻逆ら〻る昇天孤駿い孤馬の
力字我字あら〻る孤字良馬い伯樂に
依字古神酒相字人字侍免て逆
段孤雜役字ら〻る酒古字ら〻る

壬申仲秋良夜宴于秋香
養中

于住水驛人斗月子序

千代馬小集

冬至集 兆撰

野徑月

[illegible] 袁丁

[illegible] 吉井

[illegible] 蓼

[illegible] 有二

[illegible] 蓬廷

[illegible] 久城

七曲り水辺の風　種明
秋さらば紅葉の錦　角泉
人口を重ね秋さる春七月　素竜
無実秋の清て山ちる月　豊能
嬉しや秋を楽るめ出るら　双樹
手を見や藤の中なる春　中巻　昆吾
梅の香を袖に移す春椿　廉太
月夜張行
[illegible]　鯉史

高り山や秋の初雪　至長
春さらば山の馬酔の春　其杯

暮山月

秋の山の妻を問ふらんか　胡蝶
入彩る月や高山を春の水　采室
世事の秋を入る山の日の　氷記
雪月花の三つ山の隈　丿且
くらうや高嶺の上の礫石山　文水
野を秋を山代を知る　遊市

田家月

[illegible]春や松の門　夯俊

[illegible]梅[illegible]も一つもの　其竹

[illegible]きさ[illegible]て　劉拿

[illegible]作り[illegible]　九魚

畑の[illegible]梅[illegible]　晩之

[illegible]人[illegible]や[illegible]つ　信作

雲水[illegible]稲の[illegible]　一茶

留[illegible]を[illegible]梅の[illegible]　百錄

[illegible]や[illegible]　知風

春[illegible]　壮阜

[illegible]人[illegible]梅[illegible]　泝水

[illegible]　邑子

[illegible]　徹子

正月[illegible]　文鯉更　雪宋

[illegible]三[illegible]　素来

[illegible]の月　子り

[illegible]梅[illegible]　宗羽

[illegible]梅[illegible]

春ちかき物ゝ節つゝき　富切
梅の子の熟さぬ出る二月　東雀
是さへも三月雪車　雨考
夢ぬるも鶯の鳴ぬ　昌牛
雪の間に春の光り　光一
ほのゝ春の雪　蓼二
正月や梅の宮ゝ　崇車
使ひ出す鼠の春　李子
正月や鶯ゝ　仙吉

[illegible]
湖道月　木里
さゝ波や雪ぬ中　徳圃
舟借る雪の蛍　一興
春陰や雪ぬる柳　櫻里
柳さへ水に成ぬ　何兮
雪の武蔵野　松雄
松の春波定て春ぬ月　素海
春ぬ月や雪の波ゝ　梅兄

物をもの中の酒をもとめて　家親
柿の流れ秋の陽稜の少の和　車両

山家月

山をもの去竜歩の梅の朝　素連
さいかすの仏しの枯芝の秋　南戸　陸奥
正月の月の和の山の和　如物
又やる山をもの山の今年の春　其梅
陸奥の梅の山の今年の春　土蜂
月前對雨

春の月の四金古の山の和して花の　梅寿
山の吟の蓑を借らの松の月　三及
月の雲の月の山の吟の出の月の　梅堂
我の月の梅の吟の山の月の遊の月　多濃
月の十日の月の梅の花の月　知彩
月の雨の月の月の月の月の月　白圭

古寺月

秋の月の神の月の月の遠　子弼
春の月の留の月の遊の永の月　月宗

まて春ゆきとも解ぬや女加恋　山業
老僧ゆ懐さみし猫ゆ恋　山戸
きりぐすや仏の下の時ゆくら　越中 乾吏
木食ゆ暮くれて柳ちる　路里

月前雪

蓬生も雪ゆ降ぬ月の影　可行
もちゆ高くなる比ゆ　松月
柳ゆ雪ゆ高ゆ　柳林
伸ひて立る時ゆ柳ゆ　持丑

り春ゆ行ゆ多ゆ　義雪
雪ゆ雪ゆ多ゆ　長風
乃野ゆ見ゆ如ゆ　蓬孫
雁野ゆ雪四五尺ゆ　乎加
ゆゆゆ机の上ゆ　左路
多刈て行ゆ　白兎
夏ゆ見ゆ雪ゆ　一北
雪ゆ春の日ゆ　北二
如月や市ゆ雪ゆ　去毛

[illegible]　十竹
[illegible]　春甫
[illegible]　惟定
[illegible]　一秀

月前草花

中書[illegible]　道雲
秋風の[illegible]　春樹
[illegible]　三柳
[illegible]　不明

大[illegible]　梅仁
[illegible]　和舞
[illegible]　雲竹
[illegible]　孔孔
[illegible]　小栄
[illegible]　泉江
[illegible]　雄尾
正月一日[illegible]　湖水
[illegible]　宗川

山路や苔ふる岩に咲残る　茅室
郭公なく梅のこずえや　八二

月前虫

親蟀弦巣を出てやすの花　莖堂
虫のこゑも親よ都よ秋の月　外〻
年ふる人の人ぶりやさらぬ分　惟平
虫の名人の歌詠るこゑ　洛水
山蟀の言て流るゝ秋の月　建山
秋あらぬ虫の声　金石昂耳

無弦琴も屏風の中や虫の声　可丸
郭公や鶯の鳴る梅の花　梅之

海道月

海の雲も鶴の羽ぶる雪の声　春松
初月や女出て見る屋ゝの戸　三巴
恰も蓑ぬ一夜の宿の月　百之
見ぬ夢の風の吹ぬ蓮葉　媒柯
住吉の岸の高砂の春の月　卜圭
風蓋の弱蓑の日陰の蓑の声　肅雨

澤月

野ゝ神ゝ森ゝ表ゝうて田懸ゝ　友呼
海ゝ原ゝ面ゝ平ゝ行ゝ年ゝ田ゝ年ゝ物　魚游
水ゝ澄ゝ所ゝ田ゝ苗ゝ植ゝ　万布
古川ゝ流ゝ清ゝ　芝仙

名所月

桜ゝ咲ゝ盛ゝ木ゝ幡ゝ　竹加　呉竹
三ゝ重ゝ山ゝ二ゝ日ゝ不ゝ見ゝ　哥山
長ゝ月ゝ大ゝ和ゝ田ゝ行ゝ人ゝ　司馬

月夜恋

篠ゝ葉ゝ吹ゝ風ゝ窓ゝ打ゝ音ゝ　春茂
ゝ月ゝ面ゝ袖ゝ濡ゝ　春孫
合ゝ歌ゝ数ゝ人ゝ歩ゝ　藜下
時ゝ雨ゝ新ゝ松ゝ新ゝ　高康
ゝ月ゝ面ゝ今ゝ夜ゝ更ゝ　隆之
ゝ月ゝ面ゝ雲ゝ晴ゝ　女馬土

月前述懷

夜ゝ月ゝ見ゝ人ゝ室ゝ敷ゝ　秋一孤
新ゝ春ゝ新ゝ年ゝ来ゝ　成美

[illegible]　月鶴

[illegible]　素堂

[illegible]　名古屋　素英

[illegible]　一孫

[illegible]　雅長

[illegible]　麦花

賀

[illegible]　春蛾

[illegible]　五雨

八[illegible]　巣兆

[illegible]

月

[illegible]　乗馬

[illegible]　素石

[illegible]　柳葉

古今とも和の中より出る事有　新滝
月毛や草庵はまる松の枝　一孤
野ゝ花ゝ月ゝ人ゝ家ゝ　宗羽
近ゝ山ゝ雲ゝ雨ゝ　可長
名月や鳥羽はまの乗合　函柳
川陽の人数　今日の有り　素玩
高ゝ山ゝ雲ゝ月ゝ　有圭
名月や雨ふしの海ゝ　松笛
明月や宮ゝ家ゝ　壺仙

雲ゝ雨ゝ月ゝ出て月の月　壺
牛飼い牛飼ゝ月ゝ　逸寸
月ゝ雲ゝ女ゝ出ゝ　月雄
はゝ部ゝ月ゝ雲ゝ　春錦
二階ゝ月ゝ雲ゝ　一両
月ゝ雲ゝ鶴ゝ　五樓
名月や家の乗代る時ゝ　松交
明月や月ゝ野ゝ　五渡
月ゝ雲ゝ雲ゝ雨ゝ　宛林

如さ一路を踏ぬる月の友　春華
遠樹や秋の月ぬる月ぬる　芳義
月の都川さらさらの音　俱水
名月や中山にて高る　岡村
雲ゆくや月ぬ八幡山　主山
元山や月ぬ月ぬ　女葉蜩
明月い椎の木の葉ゆ出る　霍老
名の月や門の御も敷ゆ　明良
夢ゆ覚ぬ秋の月　二董

福寿の高ぬ清ぬる月ぬ　蘇市
名月や出ぬ雲ぬ　林山
月ぬ鶴ぬ鳴ぬ　賞我
名月や寺ぬ鳴ぬ　月子
月人や月ぬ一里塚　路迫
夢ぬ月ぬ清い月ぬ　秋一帆
雲ぬ月ぬ月ぬ　李吉
名月ぬ流ぬ水ぬ　路川
流ぬ月ぬ月ぬ　土柳

花月也水よりはるかに山ぞ空　高尾
唐崎の松はいくつの春の月　鬼海
明月や海にはいる川の流れ　有二
文科や竹まかせにうつる月　越新眉
名月や門に佇む人の影　斗月
名月や縁に腰掛け茶菓子　宮雄
明月や門を出りて先遠し　車来

跋

小集いとゝ春帖形ゝ事と毎年
引ゝ毎年引ゝ社ゝ年ゝ年ゝ年ゝ
年ゝ年ゝ年ゝ年ゝ鄭啓ゝ爾ゝ
詩思い雪ゝあゝ馬上ゝあゝ古ゝ年ゝ
上ゝ歌ゝ月ゝ長浦ゝ社ゝ岩ゝ
節ゝ夏ゝ月ゝ中ゝ秋ゝ
ゝ三寶ゝ記ゝ
追ゝ

義条ハ世の御外戚毎に世の
両輪とおもうもの多くして
きよとゝいふるめり

文化九年九月上弦

横江弘竹馬識

来国弘春雲帳井ニ長ニ板ハリ付ル
ハカ入ル方仮ニ長ニ切ル
板木ハ廣井秀誠福録寿来

1700

特殊蔵書

二条綱基卿